



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 414

Januar 2026

特定非営利活動法人 神戸日独協会

〒651-0085 神戸市中央区八幡通2-1-20

神戸リガッタ・アンド・アスレチック俱楽部1F

TEL/FAX 078-230-8150

E-mail: info@jdg-kobe.org

URL <https://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE
GESELLSCHAFT KOBE

Bei Kobe Regatta & Athletic Club
In Isogami-Park Hachiman-Dori 2-1-20
Chuo-ku Kobe, Japan 〒651-0085

新年ご挨拶

神戸日独協会会長 枝田 義一

2026年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。平素は神戸日独協会の活動に対しまして、格段のご協力、ご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。新しい年が協会や会員の皆様にとって素晴らしい年になることを心より祈念しております。

昨年は政治的不安定やSNSなどメディア変容やAI技術の急激な進展による社会上の諸変化、長期にわたる円安、恒常的な諸物価高騰、特に夏の異常な猛暑、局地的な豪雨、ゲリラ雷雨、各地での地震の多発など、政治・経済・社会・自然環境上多くの問題が生じ、混迷の一年でした。

本年も新春早々衆議院解散とそれによる国政の低迷、気候変動に起因されるとみられる異常乾燥状態での火事などの多発等々が報じられ、本年も混迷情勢の持続が予想されます。

世界的にもウクライナ戦争長期化とイスラエルとその周辺国での紛争激化に加え、トランプアメリカ大統領の西半球政策による中南米諸国の不安定化やグリーンランド支配を巡るEU諸国との対立、さらにイランの不安定化等々世界情勢の更なる大きな変化が予想されます。

このような国内外の「混迷状態」を正しく理解し解決の展望を持つためには、情報の正しい受信と理解が不可欠です。一月(Januar)はローマ神話の神 Janus に捧げた月(Jânuârius)です。Janus は頭の前後に顔があり過去と未来との両方を見る神で、門の守護神とされています。このような混迷の時こそ Janus 神に倣い、目前のことのみならず広く過去と未来を見渡しての判断をしたいものです。

特に国際的な大きな流れをより正しく理解するためにも、神戸日独協会は「民間の国際交流団体としての草の根的な活動を地道に積み重ねていくことの意義」を改めて会員の皆様と考えたいと思っています。会員皆様の一層のご理解とご協力を願っています。

Grußworte zum Neuen Jahr

Yoshikazu Masuda

Präsident der Japanisch-Deutschen Gesellschaft Kobe

Herzliche Grüße zum Beginn des neuen Jahres! Hiermit möchte ich mich bei Ihnen allen für Ihre Mitarbeit, Ihre Unterstützung und die zahlreichen Ratschläge bedanken und hoffe, dass das Jahr 2026 für die Deutsch-Japanische Gesellschaft Kobe und all ihre Mitglieder zu einem wunderschönen Jahr wird.

Das vergangene Jahr war geprägt von zahlreichen politischen, wirtschaftlichen, sozialen und ökologischen Problemen. Wir sahen politische Instabilität und gesellschaftliche Umbrüche, die vielfach durch die rasante Entwicklung sozialer Netzwerke und KI-Technologie hervorgerufen wurden. Der Yen erfuhr weitere drastische Abwertungen und ein Ende der Inflation ist nicht abzusehen. Hinzu kamen Umweltpolprobleme wie eine ungewöhnliche Hitzewelle im Sommer, plötzlich auftretende heftige Regenfälle und Gewitter sowie eine anhaltende Folge von Erdbeben in bestimmten Regionen.

Im noch jungen neuen Jahr wurden wir bereits mit Nachrichten über die Auflösung des Repräsentantenhauses und die dadurch bedingte Stagnation der nationalen Regierungsführung sowie mit Berichten über Waldbrände konfrontiert. Hintergrund dafür ist eine ungewöhnliche Dürre, die vermutlich auf den Klimawandel zurückzuführen ist. Man muss wohl davon ausgehen, dass wir auch in diesem Jahr noch mit zahlreichen Problemen konfrontiert werden.

Auch der Blick auf die Weltlage ist besorgniserregend. Beim Krieg in der Ukraine zeigt sich kein Ende, die Konflikte Israels mit seinen Nachbarn verschärfen sich zusehends, die Politik des US-Präsidenten Donald Trump führt zur Destabilisierung lateinamerikanischer Länder und in der westlichen Hemisphäre zu Konfrontationen mit den EU-Ländern ob seiner Ansprüche auf Grönland. Auch der Iran befindet sich in kritischer Lage.

In diesem Zustand der Verwirrung und Turbulenz – sowohl im Inland als auch im Ausland – braucht es Verständnis und Perspektiven für neue Lösungen. Dazu ist zunächst ein richtiges Verständnis der vorliegenden Informationen unerlässlich. Der erste Monat des Jahres ist dem römischen Gott Janus (Jânuârius) gewidmet. Janus wurde als Wächter von Türen und Toren verehrt. Er verfügt über zwei Gesichter, mit denen er gleichzeitig in entgegengesetzte Richtungen blickt und somit auch gleichzeitig Vergangenheit und Zukunft erschaut. Wir sollten versuchen, dem Gott Janus nachzueifern und nicht nur auf der Grundlage dessen zu urteilen, was unmittelbar vor uns liegt. Es gilt, unseren Blick auf die großen Zusammenhänge von Vergangenheit und Zukunft zu weiten.

Der Japanisch-Deutschen Gesellschaft Kobe geht es in erster Linie um ein detaillierteres Verständnis wichtiger internationaler Vorgänge. Als Organisation auf bürgerlicher Basis arbeiten wir an der kontinuierlichen Weiterentwicklung quasi an den Wurzeln der Gesellschaft. Auch dieses Jahr bitte ich Sie daher, erneut zusammen nachzudenken und gemeinsam Wege zu solch einem besseren Verständnis zu suchen.

ドイツ文化教室

バウエルン・マーレライ教室再開

講師の病気療養のため休講していましたが、一月より再開いたします。

日本語に訳せばバウエルンとは「田舎風」で、マーレライとは「絵」を意味します。ドイツでは中世から庶民の生活に密着したクラフトとして楽しまれてきました。落ち着いた色調で図案化されたヨーロッパの美しい花々を木地に写し、手本を見ながらアクリル絵の具で絵付けをしていきます。初めての方も安心して参加できます。

講 師：ドイツ バウエルン・マーレライ認定講師 鈴木芳子先生

日 時：①1月21日 ②2月18日 ③3月18日

(原則第3水曜日10:30～15:00)(昼30分休憩あり)

持ち物：使い捨てのタオル(小)・エプロン

参加費(税込)：15500円(一般・会員とも)

他に材料費実費(画材代金・筆など)

絵具は1回のレッスン800円で自由に使用可

ドイツ語講座

ドイツ語講座2025年度第Ⅳ期開講

1月8日からドイツ語講座の2025年度第Ⅳ期が開講しています。

国際交流活動は活発化が見られ、国際交流も多様化をしています。ドイツ及びドイツ語圏との多様な交流の基盤となるのはドイツ語です。この機会をドイツ語の学習はじめ、ブラッシュアップ、学び直しの好機ととらえませんか。

新規開講クラス(オンラインクラス)

会話と作文のクラス(初級)金曜18:10～19:30 竹中らら講師

この講座では、意味のあるインプットとアウトプットを基礎に、言語構造にも着目した練習を加え、よどみない会話と作文ができる力を養うことを目的としています。学習者の言語使用状況に応じた語彙カードやミニダイアログ使用します。

会話と作文のクラス(初期中級)金曜19:40～21:00 竹中らら講師

この講座では、会話のコロケーションやモデルを用いて、ドイツ語の基礎的な表現が自動的に出るようになるトレーニングをします。ドイツ語でSNS発信、メール、手紙を書く練習もします。ドイツ語圏の小話や写真も用意しています。

※いずれのクラスもオンライン上で教材を共有し、学習者同士の交流もできるプラットフォームを使用します。プラットフォームでは、パスワード付きで、無料で書き込みや写真、文章を保存できる便利なサイトを使用。

これまでのドイツ語講座では行われていなかった「会話と作文」のクラスですので、奮ってご受講ください。

開講授業の詳細については、協会へお問い合わせください。ご参加をお待ちしています。

ドイツ語特別講座報告

歌う人のためのドイツ語 ♪発音・発声・フレージング♪

理事 押尾 愛子

神戸日独協会常務理事で元神戸大学教授の Dr. Stefan Trummer=Fukada 氏はオーストリア出身で、ウィーン大学で音楽理論を専攻され、作曲もされている。

「話し言葉のドイツ語と歌うドイツ語に違いはあるのか」、「どう違うのか」、実は私はアンサンブル神戸というオーケストラの合唱団で歌っているが、時々合唱の仲間からこんな質問をされる。私は音楽を専門に勉強したことないので、話し言葉のドイツ語と歌うドイツ語の違いについて、以前から知りたいと思っていた。

この特別講座の最初にトゥルンマー先生が指摘されたのが、12月6日のクリスマス会の時に私たち皆が歌った、ベートーヴェンの交響曲第9番の合唱だった。“Freude”というドイツ語を私たちは“フロイデ”と発音する。これは、‘聞いていて気持悪い’ そうである。それは“Freude”の最後の e の発音は e ではなく、ø だからである。では、ø とは何か？

そこでシュワー(独: Schwa, シュヴァー)の説明となり、ドイツ語学が専門の枡田義一先生の登場となる。曖昧母音としてのシュワー ø は、英語、ドイツ語、フランス語などの西洋語における、はつきりとした特徴のない中性的な母音をいい、音素表記では /ø/ と書かれる。他に曖昧母音には、a の曖昧母音 œ がある。私は大学でドイツ語を勉強したが、曖昧母音というものを教えてもらった記憶がない。

シュワーには次のような特徴がある。

- ① 曖昧母音は脱落すること多く、例えば reden [ré:dən] は [ré:dø̯] という発音になったりする。
- ② 語末の -er は母音化し、Vater [fá:ter] → [fá:tr] → [fá:te] と変化する。

だから第9の Freude schöner Götter funken の schöner は [シェーネル] から [シェーナー] という発音に変わる。日本では相変わらず [シェーネル] と発音することが多い。

- ③ [r] は母音化し、Bier は [bi: e] と発音される。

ドイツリート(歌曲)の神様のように言われるフィッシャー・ディースカウは [r] をかなりはつきり発音していて、ちょっと古い発音のようだ。またディースカウは語末の t もはつきりと発音しているが、これも今では古臭いようである。

次は Prosodie についてである。プロソディとは、言語学における韻律、あるいは発話で現れる音声学的性質のこと、具体的には抑揚、強勢、リズムなどを含む。言語はそれ自体、特に名詞や動詞は単語それ自体が山を作っていて、詩に音楽をつける場合、単語それ自体が持つ抑揚に合わせて作曲する。

ここでトゥルンマー先生は私たちに二つの音を聞かせて、違いを尋ねた。実はこの二つの音は同じ抑揚の音なのだが、音に意味があると私たちは意味だけを聞き、意味がないとメロディだけを聞き、この二つが同じ抑揚であることに気がつかない。脳は内容以外の要素を消してしまうのだそうだ。16歳で脳の言語圏ができるそうである。

また、トゥルンマー先生は自分が18歳の時に作った歌曲を聞かせてくれた。これは書き直しを命じ

られた作品とかで、その理由は *der* や *ein* のような定冠詞・不定冠詞の後に休符があるからだ。定冠詞・不定冠詞は名詞とセットでなければいけないのに、18歳のシュテファンはメロディ優先でドイツ語を無視してしまった。

この点においてシューベルトは卓越していたそうで、仲間が集まって誰かが詩を朗読すると、シューベルトは何度もそれを聴いてから、それに合わせてメロディをつけたそうだ。そのシューベルトの作品にも、有名な『魔王』にはちょっと Prosodie の点で問題のある個所があるそうだ。

最後は、モーツアルトのオペラ『魔笛』より、“Ach ich fühl's”というパミーナのアリアの聴き比べである。往年の名ソプラノ、シュワルツコップは「Ach(ため息)と ich(私)意味的には切れるけれど、ここで息継ぎをしてはダメで、ich に繋がなければいけない」と、若いソプラノを細かく指導している。これも Schwa のテクニックである。それを見事に歌っているのがルチア・ポップで、高温で発音しにくい“Ruh'”を自然に上げて歌っているのはもはや神業だ。その次の世代のバーバラ・ボニーになると、もっと流れるように歌っている(バーバラ・ボニーは目下トゥルンマー先生の“推し”だそうです)。

歌い方の変化は時代と関係している。マイクがなかった時代、広いスペースで聞かせるためにいろいろ工夫された。今はニューヨークのメトロポリタン歌劇場やウィーン国立歌劇場のような大きな歌劇場には音響設備があり、オペラ歌手は無理に大声を出す必要はなくなった。ウィーン国立歌劇場の音響設備を担当したのは神戸日独協会法人会員のTOA株式会社様です。

会員の広場

このコーナーは、会報を通して会員相互の交流をしていただくための「広場」です。投稿をお待ちしています。1000字程度(字数を厳守)のMSPゴシック12ポイントのWordデータを第4月曜日までにメールでお送りください(今月は都合により休載します)。

2月の企画委員会のお知らせ

2月の委員会は定例通り開催いたしますので、是非とも参加し、協会の運営や企画などにご意見を下さい。

日 時：2026年2月14日(土)15:00～17:00

場 所：神戸リガッタ・アンド・アスレチック俱楽部会議室

話 題：2026年4月までの事業計画について

ご出席いただける方は、事務室へ電話・メールにてご連絡ください。当日参加也可。

第2回ワインアーベントに参加して

会員 井川 伸子

昨年11月から奇数月の月に1回ワインを楽しむWeinabendが始まりました。

昔、ドイツ留学中に、ライン川沿いのいくつかのワインセラーを見学しながらワインを試飲し、ドイツ文化に触れるという留学生対象のツアーに参加し、それ以来、ワインを味わうのが好きになった私は、このワイン会がとても楽しみで毎回参加させていただいています。

今回も、ドイツ商事ローテローゼさん推奨のワインを、神戸の古き良き時代を漂わす異人館風のお洒落な神戸リガッタ俱楽部レストランで食卓を囲み、最初は、枡田会長の音頭でまず、Weißen Sekko Trocken のフルーティーな微発泡ワインで新年のお祝いと共にみなさんの健康と幸福を祈りながら乾杯“Zum Wohl”で始まりました。Sekkoは、Sektよりもガス圧が弱くドイツではパールワインとも言われるほど、きめ細やかな小粒の泡がまるでパールのように輝き、Weinabend のお洒落な雰囲気が漂い始めました。一つのワイングラスが終わると、次は、どんなワインが出されるのかわくわくしてきます。各自持ち寄りのチーズ、ドイツパン、ポテトなどをつまみながら、ワインの瓶に貼られた Etikett(ワインの銘柄、醸造所名、生産年度、品質などが記されたラベル)を見て、Weiße Burgunder の辛口白ワイン、Portgieser の辛口赤ワインなど、ゆっくりと6種類のワインを一つ一つ心ゆくまで味わいながら、ドイツの思い出や、ワインへの思いなどを語り合い楽しい時間が過ぎていきました。途中で気分も高揚し、オクトーバーフェストで歌う Trink Trink, Brüderlein Trink ! や、Schneewalzer など Schunkeln(隣の人と腕を組んで体を左右に揺する動き)をしながら会はたけなわ。最後は長時間凝縮された果実の甘さと芳香な香りが漂うケルナーの甘口貴腐ワイン“Spätlese”で会を閉め、至福の余韻に浸りながら帰途に向かいました。

ワインアーベント

昨年11月から「ワインアーベント」を復活しました。奇数月に定期的に、神戸レガッタ俱楽部レストランを会場に、低額の会費で、6種類前後のドイツワインを楽しみ、時にはドイツワイン専門家の教えを受け、ドイツワインについての思いや情報を交換し、会員相互の交流を深める会です。

奇数月の第三木曜日の18時から開催ましたが、参加者の要望で次回より第三金曜日18時～に変更します。

次回3月開催の第3回定例会は参加者の発案で日時と会場を変更して龍野市内の会員 Nitz さんのお店“Café Berlin”で開催します。詳しいご案内は会報次号にていたします。

第3回ワインアーベント(日時・会場変更)

日 時：3月29日(日) 午後

場 所：Café Berlin (たつの市龍野町)

ドイツ歌声サロン

この会は、ドイツ歌曲・オペラの名曲、ドイツの流行歌やドイツ映画音楽、ビアソングのみならずドイツの家庭や集会で広く歌われ、日本でも親しみ歌い継がれてきたドイツの愛唱歌をも採り上げています。3ヶ月でドイツ語での歌3曲をマスターします。

2月の曲目は、Oh, bist du wie schön、Der fröhliche Wanderer (愉快に歩けば)、So ein Tag, so wunderschön wie heute を歌います。

講 師：岩島 佳子さん

日 時：2月7日(土) 13:30～15:00

場 所：神戸日独協会教室

参 加 費：2000円

参加条件：神戸日独協会会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。ドイツ語の歌を主として歌いますが、ドイツ語が初めての方も是非ともご参加ください。

申込先	メール	info@jdg-kobe.org	TEL・FAX	078-230-8150(月～金14～17:00)
-----	-----	-------------------	---------	---------------------------

ハントアルバイトの会(ポーセラーツ)

手仕事による製品作りのお好きな方の「会員サークル ハントアルバイトの会」が活動しています。カルチャー教室などでビーズ＆ジュエリー刺繡やポーセラーツ等を学ぶ「ぶどうの木」主宰している堀田真美子さんを講師としてお招きして、初めて参加の方はマグカップや小皿に、継続参加の方は希望の食器に希望の絵柄で製作します。自分のデザインによる食器作りを楽しみましょう。2月定例会では季節の祝祭シリーズ「お雛祭り」の小物と小額を作成します。是非ご参加いただき、春の季節をお手製の作品作りでお楽しみください。

講 師：堀田真美子さん、枠田節子さん

日 時：1月25日(日)14:00～16:00

2月22日(日)14:00～16:00

場 所：神戸日独協会教室

会 費：1500円（材料費+お茶代）

参加条件：神戸日独協会会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。

申 込：1月23日(金)、2月20日(金)まで

申込先	メール	info@jdg-kobe.org	TEL・FAX	078-230-8150(月～金14～17:00)
-----	-----	-------------------	---------	---------------------------

お知らせ

インターンシップ実施

3名の神戸大学生が協会にて3月までインターンシップを行っています。事務研修のみならず各種行事・授業に加えて会員サークルにも参加させていただきますので、よろしくお願いします。

第254回 ドイツ語談話室

日 時 : 2025年12月20日(土) 14:00~16:00

場 所 : 神戸日独協会会議室

テー マ : 2025年振り返って

今回の司会は、川見正之氏が担当され、テーマである2025年に起こったことについての感想を述べられた。特に司会者にとって衝撃的であったのは、大分県での大火災と、香港での高層住宅群の大火災であった。これらの大火災では多くの命が奪われた。

神戸市中央区にある異人館街の「うろこの家」では、毎年世相のサンタクロースが現れて、その年のできごとが人形を通して表現される。大谷選手の活躍、トランプ大統領の出現、日本で初めての女性総理大臣高市早苗氏の誕生、等々。

今回も初めての参加者があったので、自己紹介していただいた。

次に、参加者の皆さんのお話を一部下記紹介する。

- トランプ大統領が世界中の国々に、アメリカが損をさせられている分の見返りと言って、一方的に高関税を宣言した。
- 日本の政権史上初めての女性総理大臣、高市早苗総理が誕生して話題となった。
- コメの価格が突然高騰し、5kg当たりこれまで2000円台で売られ続けていたものが、倍増して、4000円台になってしまった。
- 今年の夏は、また暑かった。北海道釧路でも40°Cを記録した。
- EXPO大阪に行ったが、入場者が多く、シニアサービスで少し早く入場できたが、それでも大変だった。
- 東北各地で、例年になく、ツキノワグマの出没が多くあり、死傷者まで出た。
- 香港では、高層住宅群で大火災が発生し、多くの死者が出た。
- 12月には、東北地方で大地震が発生し、その後余震が続いている。
- 普段とても元気にしておられる女性の参加者が、膝の痛みを覚えるようになり、指圧療法を受けてみたところ、改善された。
- 別の参加者の男性は、80歳代後半に入って、これまで経験しなかった腰痛に悩まされるようになった。

今後のドイツ語談話室の予定:

第256回 2026年2月21日(土) テーマ : 午年

Protokoll der 254. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag, 20. Dezember 2025, 14 bis 16 Uhr

Thema: Jahresrückblick 2025

Dieses Mal führte Herr Masayuki Kawami durch das Gespräch und berichtete von den Ereignissen des letzten Jahres, die ihm besonders in Erinnerung geblieben waren. Dazu zählten unter anderem verheerende Brände, die einen schockierenden Eindruck hinterließen, wie der Flächenbrand in der Präfektur Oita und der Hochhausbrand in Hongkong, bei dem viele Menschen ihr Leben verloren.

Im „Urokonoie“-Haus im Ijinkan-Viertel des Chuo-Bezirks von Kobe präsentierte ein Weihnachtsmann jedes Jahr wichtige Geschehnisse, die mit Puppen dargestellt werden. Diesmal waren es Shohei Ohtanis Erfolge im Baseball, die erneute Präsidentschaft von Donald Trump und Sanae Takaichi als erste Premierministerin Japans.

Dieses Mal gab es wieder einen neuen Teilnehmer, der sich allen vorstellte.

Hier einige der Wortmeldungen zum Thema:

- Präsident Trump verhängte einseitig hohe Zölle gegen Länder weltweit und behauptete, dies sei eine Vergeltungsmaßnahme für die Verluste, die Amerika erlitten habe.
- Die Wahl von Sanae Takaichi zur Premierministerin sorgte für Aufsehen.
- Der Reispreis schoss plötzlich in die Höhe und verdoppelte sich von zuvor rund 2.000 Yen für 5 kg auf rund 4.000 Yen.
- Der Sommer war wieder sehr heiß. Selbst in Kushiro auf Hokkaidō wurden über 40 °C gemessen.
- Ein Teilnehmer besuchte die EXPO in Osaka. Dank des Seniorenservices war er nicht von allzu langen Wartezeiten betroffen, allerdings war das Gelände übervoll mit Besuchern.

In der Region Tohoku wurden mehr Bären als üblich gesichtet. Es gab auch mehrere Todesopfer durch Bärenangriffe.

- Beim Hochhausbrand in Hongkong kamen sehr viele Menschen ums Leben.
- Im Dezember ereignete sich in der Region Tohoku ein schweres Erdbeben und seitdem gibt es immer wieder Nachbeben.
- Eine Teilnehmerin, die eigentlich immer gesund war, bekam plötzlich Knieschmerzen. Durch eine Akupressur-Behandlung hat sich ihr Zustand wieder sehr verbessert.
- Ein anderer Teilnehmer, der bereits Ende 80 ist, bekam plötzlich Hüftschmerzen, wie er sie noch nie zuvor erlebt hatte.

Nächstes Treffen:

Samstag, 21. Februar 2026, 14 bis 16 Uhr. Thema: Das Jahr des Pferdes.

会報ボランティア

次の印刷・封入・発送は、**2月26日(木)**を予定しています。

印刷・封入・発送とも11時より神戸日独協会にて行います(13時頃終了予定)。

お手伝いいただける方は事前にご連絡ください(078-230-8150)。

行事等の写真について

会報には誌面の都合上、写真等は掲載できませんが、ホームページ・SNSではご覧いただけます。



ホームページ
Homepage



Instagram



X
Twitter

イベントスケジュール

日 時	催 し	会 場	申込〆切
1月25日(日) 14:00～16:00	ハントアルバイトの会 (ポーセラーツ)	神戸日独協会	1月23日(金)
2月7日(土) 13:30～15:00	ドイツ歌声サロン	神戸日独協会	当日参加可
2月14日(土) 15:00～17:00	企画委員会	神戸リガッタ倶楽部	当日参加可
2月21日(土) 14:00～16:00	ドイツ語談話室	神戸日独協会	当日参加可
2月22日(日) 14:00～16:00	ハントアルバイトの会 季節の祝祭シリーズ「お雛祭り」	神戸日独協会	2月20日(金)